

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	このまなび		
○保護者評価実施期間	令和7年12月 1日		～ 令和8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 7日		～ 令和8年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムの立案等はチーム全体で行っており、年齢に応じた様々な活動を実施することができる。	・活動が固定化しないように、会議などで意見を出し合い、新たな活動の提案を行っている。	・今後は買い物時における金銭の支払いや交通機関の自立など、生活自立に向けた目標を設定し、活動に取り入れていく。
2	・ご家族に対して、お子さまの様子を連絡ツール等で伝え、情報共有を行っている。	・日々の様子を、送迎時や連絡ツール等を用いて伝えるようにしており、必要な場合は個別に連絡して情報共有を行っている。	・今後も職員全体で情報共有を行い、全職員で支援が行えるようにしていく。
3	・異年齢交流を定期的に取り入れている。	・系列保育園、児童発達支援事業所での職場体験や交流を取り入れ、社会性、協調性、思いやりの心を育む活動を行っている。	・今後も継続して行うと同時に、様々な年齢との交流を取り入れていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ご家族に対しての家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の研修会ができていない。	・職員の知識や技術を育成できていない。	・ペアレントトレーニングができる人材の育成。
2	・保護者会などの家族が交流できる場を作ることができていない。	・場所や駐車場確保、日程調整等が難しく、実施には至っていない。	・保護者の方へニーズチェックを行い、希望に応じて保護者交流会を計画、開催する。 ・複数回の開催やオンラインでの開催も検討し、参加しやすい環境を整える。
3	・地域との交流など、地域に開けた事業運営を行えていない。	・事業所主体の地域交流を計画する方法や分からず、実施する場合の人員確保が難しい。	・市や公的団体へ実施方法などの助言を聞くなど取り組んでいきたい。